

(別添 4)

【皆野町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を中心とするICT環境を効果的に活用していくことで、児童生徒一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育を推進する。

本町では、「みな教育プラン」として、確かな学力・豊かな心・健やかな体・自立する力をそれぞれ育むことを理念として掲げている。児童生徒が多様な他者と協働しながら学びを実現する環境を整備していく。

2. GIGA第1期の総括

文部科学省によるGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に児童生徒用及び指導者用のGIGA端末の整備が完了した。また、学校へGIGAスクールサポーターを派遣し、教職員へICT活用の研修や支援を行ったことで、授業内でのICT活用が日常的に行えるようになった。授業時においては、クラスメイトとリアルタイムで考えを共有する授業支援ソフトを利用することで、協働的な学びが実践できている。

課題として、使用年数の経過とともに、端末の経年劣化や故障などが増えている点が挙げられる。また、学習者用デジタル教科書も整備しているが、活用頻度が少ない点も課題となっている。GIGA第2期では、計画的な端末更新を行い、十分な予備機を確保する。活用頻度の少ないソフトウェアも他自治体の授業実践事例等を参考にし、更なる活用を進めることで、これらの課題を解決していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

十分な予備機を含め、端末の整備・更新し、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用していく。

(1) 1人1台端末の積極的活用

端末の家庭への持ち帰りをより一層促進し、学習者用デジタル教科書やデジタルドリル等、様々な媒体の活用を進める。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

端末や授業支援ソフトを活用し、児童生徒が自分で学び方を選択したり、自分で調べたり、考えをまとめたり、発表・表現したりできる主体的かつ協働的な学習に取り組む授業づくりを推進していく。

(3) 学びの保障

十分な予備機を確保することで、端末が故障・破損した場合でも随時交換できる体制を構築し、児童生徒の学びの機会を保障する。